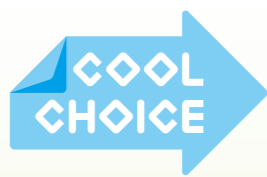


エコの すすめ



▶COOL CHOICE(クールチョイス)とは地球温暖化を防止するため、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」などを選ぶ『かしこい選択』をしていこうという国民運動です。

小さなことからコツコツと!!
環境に配慮した行動と選択の積み重ねが、地球や家庭の「エコ」につながります。

レジ袋有料化

2020年7月1日スタート

レジ袋削減にご協力下さい

**環境問題
解決の
第一歩**

7月1日より、全国でプラスチック製買物袋、いわゆるレジ袋の有料化を行うこととなりました。これは、普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考えていただき、私たち消費者側のライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています。

プラスチックは成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、地球温暖化をはじめとする環境への影響も大きいため、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。

レジ袋有料化をきっかけに、皆さんもエコバッグを持ち歩くなどの環境に優しい取り組みを、できることから始めましょう!

問い合わせ先/役場環境生活課環境係 ☎ 4 8 2 - 2 9 3 4 (課直通)

ご利用ください 空き家バンク・人財バンク

町で実施している「空き家バンク制度」「人財バンク制度」を紹介しています。

6月23日現在、「空き家バンク」で募集している空き家物件は6件(売買6件)。今月は「登録番号53物件」を紹介します。

「人財バンク」に登録されているのは、個人登録6人、団体登録8団体。今月は、個人登録番号2「鈴木禎洋」を紹介します。

それぞれの詳しい内容は、町公式ホームページに掲載していません。ご覧いただき、ぜひ、ご利用ください。

▶空き家バンクホームページ

https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/kurashi_tetsuzuki/sumai_seikatsu/1/1658.html

▶人財バンクホームページ

https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/soshikiichiran/kyoikuiinkai_shakaikyoikuka/jinzaibank/997.html

空き家バンク



人財バンク



- ▶場所/字熊牛原野 8 番地39
- ▶建物/木造平屋建て
1LDK
- ▶建築年/2007年
(平成19年)
- ▶価格/1,100万円



空き家バンク
登録番号53

- ▶氏名/鈴木禎洋(すずき さだひろ)さん
- ▶分野/教育・学習における一般教養分野のアドバイザー
- ▶PR/商業教員免許、簿記、プログラミングなどの資格有。バイクが好きで、日本一周をしたこともあります。また、狩猟免許を取得し、ハンターとして活動中。いろんなことにチャレンジしたいのでぜひ声をかけてください。

人財バンク
団体登録番号8



問い合わせ先/空き家バンク/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)
人財バンク/教育委員会社会教育課社会教育係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 8 (課直通)

地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



開成建設工業(小澤由明代表取締役)の皆さんが5月22日、弟子屈中学校のグラウンドと町営球場の転圧作業を行いました。使用する生徒の皆さんや野球で使用する町民の皆さんに安全に使用してもらいたいとの思いから行われたもので、重機を使い丁寧に作業が行われました。



辻谷建設(辻谷智之代表取締役)の皆さんが5月29日、川湯保育園のグラウンドとおひさま公園の広場の整備を行いました。子どもたちに安全に使ってもらいたいとの思いから行われたもので、重機などを使いきれいに整備されました。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが5月30日、町道町営牧場1号線と町道釧路川右岸沿線のごみ拾いを行いました。毎年行っているもので、今年で12年目。30人が参加しました。今代表取締役は「観光地である弟子屈町に、地元業者として少しでも貢献できれば」と話していました。



株多田塗装工業(多田征人代表取締役社長)の皆さんが6月3日、弟子屈町社会老人福祉センター駐車場のライン引きを行いました。

施設の利用者の方が駐車場を利用しやすいように行われたもので、手際よく作業が行われました。



辻谷建設(辻谷智之代表取締役)の皆さんが6月12日、川湯温泉街を流る湯川排水路周辺で、管理道路の立ち木の伐採や草刈りなどを行いました。川湯温泉を訪れる観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、今年で10回目。35人が参加。湯川上流の敷島つつじ橋を起点とし、上流約530メートルの間を丁寧に作業しました。